

ITBO研究会の活動

2011年4月13日

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)

情報システム・バックアップオフィス研究会

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

2010年度の活動内容

1. ITBO 用語研究

- BCP に関連するIT 用語/BO 用語の解釈をITBO の立場から定義する
 - ・ ITの用語に詳しくない人（例：経営層、総務部門）に**最低限の認識**をもってもらえるような内容とする
 - ・ 基本的な用語を取り上げ、平易な解説を加える

2. プレゼンテーションによる情報共有

- 自社/他社の製品、事例、研究会以外の情報も含めて情報を共有する

3. HAPPY HOUR

- 各人から当研究会に参加した目的や討議したいことを提示してもらい、全員で意見交換を行う

4. 他の研究会との交流

5. BCP 訓練の研究

- BCP の訓練に関連する実態調査や訓練方法の検討などを通して研究会メンバーの見識を広げる
 - ・ BCP 訓練メニューの検討
 - ・ BCP 訓練チェックリストの作成
 - ・ アンケート項目の検討
 - ・ 訓練に関する情報の共有

6. クラウドに関する検討

- BCにおけるクラウドの課題について検討

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

1. ITBO用語研究（2010年度実績）

#	用語	#	用語
1	ITサービス継続マネジメント	11	ウォームサイト
2	ITサービス継続戦略	12	ホットサイト
3	ITサービス継続計画	13	ミラーサイト
4	ITサービス継続	14	バックアップ
5	インシデント	15	リカバリー
6	DRP	16	リストア
7	コンティンジェンシー・プラン		
8	バックアップサイト		
10	コールドサイト		

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

2. プレゼンテーションによる情報共有

#	演目	講演者
4月	事業継続とITのDRP	大塚 純一氏（日本アイ・ビー・エム株式会社）
5月	米国TeleContinuityに見る、非常時Cyber Solutionの一考察	伊藤 高信氏（TeleContinuity, Inc.）
7月	語られなかった真実: 9.11 同時多発テロから学ぶもの - IT と経営はいかに戦ったか “Lessons learned: 9.11 inside stories - How the Bank bridged the gap between IT and Business”	佐柳 恭威氏（スタンダード&プアーズ）
9月	ITBO 特別勉強会： 「9.11の貴重な資料映像から学ぶ」 ※各研究会座長と連携して開催	佐柳 恭威氏（スタンダード&プアーズ）
10月	【i2i Rescue】BCP 見える、つながる、いつもケータイ	近棟 あづさ氏（株式会社エム・ビー・アイ）、 市川 啓一氏（株式会社レスキューナウ）
11月	「企業戦略として経営者が取り組む事業継続を考える」- 富士通エフサス・関根社長講演のご紹介 -	安齊 隆正氏（株式会社富士通エフサス）
3月	特別講演会 「鈴与のBCP の特徴と今後の課題」 ※ BCP維持管理研究会、公的組織BCP・法環境研究会との合同開催	佐原 章友氏（鈴与株式会社）

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

3. HAPPY HOUR（討議テーマ）

- ◆ 顧客データのバックアップ
 - バックアップオフィスの検討
 - データのバックアップ要件に関する検討
 - 関連省庁のBCPに関する確認事項
- ◆ 自社内におけるBCP対応
 - 被災システムの復旧体制における顧客との調整のありかた
 - 自社のBIA実施の必要性
 - BCPについて経営者にコミットメントしてもらうための対応
 - BCPのルールを社内で共有するための対応策
 - 実際に保守を行う全国の協力業者との連携に関する課題
- ◆ 契約およびSLA（サービスレベル・アグリーメント）について
 - システム復旧体制と契約のありかた
 - 顧客との契約に記載するBCP体制に関するコミットメント
 - 顧客との契約はどうあるべきか
 - 免責事項とベストエフォート
 - あらかじめ明確にしておくべき項目について
- ◆ 広域災害発生時における対応の優先順位

4. 他研究会との交流

◆ 合同勉強会等の実施

- 2010年9月 特別勉強会：「9.11の貴重な資料映像から学ぶ」
佐柳 恭威氏（スタンダード&プアーズ）
 - ・ 各研究会座長と連携して開催
 - ・ 災害情報研究会、中小企業・地域普及研究会、BCP維持管理研究会、グローバルBCP研究会の座長、副座長など計8名が参加
- 2011年3月 特別講演会：「鈴与のBCP の特徴と今後の課題」佐原 章友氏（鈴与株式会社）
 - ・ BCP維持管理研究会、公的組織BCP・法環境研究会から合計6名が参加

◆ 合同見学会の実施

- 2010年11月 合同見学会：「そなエリア東京」見学
 - ・ 中小企業・地域普及研究会、BCP維持管理研究会、公的組織BCP・法環境研究会、関西支部会など、ITBO以外から34名が参加、総勢50名

◆ 研究会訪問

- 関西支部会：討議への参加、プレゼンテーションの実施
- BCP維持管理研究会：討議への参加
- 公的組織BCP・法環境研究会：討議への参加

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

4. 他研究会との交流 そなエリア東京」合同見学会のようす（1）



4. 他研究会との交流 そなエリア東京」合同見学会のようす（2）

72時間、どう生き残るか？

How to survive for 72 hours?

如何在72小时生还？ 72시간, 어떻게 생존할 것인가?



1
発災
DISASTER



3
被災地
STRICKEN AREA



2
脱出
EVACUATION



4
避難場所
EMERGENCY
EVACUATION AREA



4. 他研究会との交流 そなエリア東京」合同見学会のようす（3）



4. 他研究会との交流 「そなエリア東京」合同見学会のようす（4）



4. 他研究会との交流

「そなエリア東京」合同見学会のようす（5）



4. 他研究会との交流 「そなエリア東京」合同見学会のようす（6）



5. BCP訓練の研究

◆検討方針

- 訓練の全体像をいったん整理し、明らかにする
- 訓練メニューの検討からスタート
 - ・ 整理する切り口について検討
 - ・ バリエーションについて整理する
- DRとしての訓練をヒントにして開始
 - ・ 訓練の目的ごと
 - ・ ありえるパターンごと

6. クラウドに関する検討

◆クラウドサービスの理想と現実

- サービスの見える部分と見えない部分
- 保証されていることとされていないこと

◆クラウドサービスとBC

- 平常時と災害時（BC発動時）の環境の違い
→ サービスを提供する側の事情
- 平常時と災害時の条件の違い
→ サービスを利用するユーザー側の事情
- 平常時と災害時のニーズの違い
→ サービスを利用する目的の違い

◆クラウド導入にあたっての課題とは

2011年度の活動予定

1. ITBO 用語研究
2. プレゼンテーションによる情報共有
3. HAPPY HOUR
4. 他の研究会との交流
5. BCP 訓練の研究
6. クラウドに関する検討

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

活動方針

◆ 出席することを前提とした活動とする

- 意見交換・討議を通して認識を高める
- 他業種についての理解を深めることで、自社のBCに関する気づきやヒントを得る



参加して発言することに意味がある

◆ BCについての理解をより深める

◆ 人脈を広げる

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

特定非営利活動法人
事業継続推進機構

情報システム・バックアップオフィス研究会

A Specified Non-Profit Japanese Corporation
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)